

# 三鷹のまちで、〇〇をおもしろがる・たのしむプロジェクト

## 概要

デザインには、人をワクワクさせたりまちを元気にする力があります。特にローカルなテーマには、先駆性が潜んでいることが少なくありません。この授業では、本学の施設「三鷹ルーム」のある東京都三鷹市をフィールドに、実際に行われている先駆的な市民活動の取り組み事例をまちづくり活動のケーススタディとして学びます。

具体的には、三鷹市で市民活動をされている方をゲストに迎え、ヒアリングをきっかけに、三鷹のまちの取材やリサーチなどフィールドワークを行います。

課題解決型プロジェクトだけに的を絞らず、誰もが楽しめるプロジェクトを目指し、グループで「こんなことができたらいいな」という自分たちのプロジェクトを、三鷹のまちをフィールドとして考え提案する体験をします。

最終日にはゲストにもご参加いただき、企画を聞いてもらう、見てもらう、体験してもらう要素を盛り込んだプレゼンテーションを行います。

## 基本情報

担当教員学科 通信教育課程 デザイン情報学科デザイン総合コース	15名
担当教員氏名 上原幸子、朝比奈ゆり、藪内新太	参加学生の学年 2年生～4年生
プロジェクト実施期間 2022年度～(4日間のスクーリングで年2回実施)	主な連携先 NPO 法人みたか市民協働ネットワーク、一般社団法人ミタカエリアデザイン、三鷹コミュニティ・スクール、一般社団法人江戸小喃つながりコーチング、NPO 法人みたか市民協働発電、まちなか農家プロジェクト、みたかスペースあい、野の、おむすびハウス三鷹、NPO 法人子育てコンビニ (2025年度春スクーリング)
プロジェクトの実施拠点 東京都三鷹市	NPO 法人みたか市民協働ネットワークは、三鷹市の中間支援組織として多様な市民活動団体をつなげる活動を行っているため、紹介を通してたくさんの方の市民活動者につながることができました。
参加学生の学科 通信教育課程 デザイン情報学科 デザイン総合コース	
参加学生の人数 2025年度 春スクーリング34名、秋スクーリング14名	
連携先など関係者の人数 三鷹市内の複数の市民活動団体 約	

## プロジェクト全体の関係図

